

令和4年度 芸術科「音楽I」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～H組
教科書	MOUSA（教育芸術社）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	器楽ヴァイオリン	演奏発表	・簡単な童謡曲を練習、演奏発表	実技試験
5	器楽トーンチャイム 楽典	合奏 楽譜の読み方習得	・5～10人グループでの合奏、簡単な曲 ・音符の読み方、楽譜進行の学習、 伊語・英語音名習得	演奏発表 出席 取り組み
6	歌唱 斉唱	歌の発声、呼吸の安定	・「翼をください」長い音符の息づかい	課題ワークシート
7	鑑賞 日本の音楽	日本の伝統楽器	・日本古来の代表楽器の鑑賞	
9	器楽リコーダー	アンサンブル	・奏法の確認、簡単な曲の2重奏 レベル分けによる試験曲実施。	実技試験 発表形式試験(創)
10	創作オノマトペ 歌唱 合唱	リズム創作 音程、息継ぎや息繋ぎ	・言葉、リズム、強弱を使った創作 ・「星に願いを」などディズニー系統の曲 跳躍する音程習得、歌詞に追随する表現法	出席 取り組み 課題ワークシート
11	器楽ギター	基本的奏法	・基本的動作、簡単なメロディー弾き メロディーとコード2重奏	
12	鑑賞 舞台芸術	舞台芸術作品と歴史	・オペラ/オペレッタ/ミュージカルの歴史	
1	鑑賞 日本の音楽	沖縄音楽	・歴史、演奏文化、音楽的要素の学習	出席、取り組み
2	器楽三線	演奏発表	・「海の声」練習、演奏発表	ワークシート
3	歌唱 斉唱	スウィング	・「おお、シャンゼリゼ」スウィング習得	実技試験/発表

3 評価の観点

知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料にもとづいてABCで評価します。

- 知識・技能 …………… 実技試験、演奏発表、ワークシート等
- 思考・判断・表現 …………… 実技試験、演奏発表、ワークシート等
- 主体的に学習に取り組む態度 … 自己評価カード、提出物、毎授業の持ち物チェック、授業態度等

観点ABCの判断基準は以下の通りとなります。

- A・・・十分満足できる (学習到達状況 100%~80%)
- B・・・おおむね満足できる (学習到達状況 79%~30%)
- C・・・努力を要する (学習到達状況 29%~0%)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

様々な音楽ジャンルを扱いますので、意欲的に取り組めると良いと思います。音楽的な知識を身につけるよりは、様々な音楽事象を広く浅く扱い、興味を持つことに重点を置いて授業します。ですので、楽しみながら参加できるのが理想です。広く浅く扱う分、試験等が多く感じると思います。全てクリアできるように頑張りましょう。